

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年4月10日

仕事の内容	ひとり親・女性相談事業		
担当部署・課長名	子育て支援部子育て支援 課	ひとり親・女性相談 係	課長名 鈴木礼子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 4 -
【施策名】 児童福祉の推進	総合計画書(ページ)	59

予算名	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 5 母子福祉費	事業 1 ひとり親・女性相談事業
-----	---------	-----------	-----------	------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ひとり親家庭の母又は父及び女性でさまざまな悩みを抱え、相談を希望する方	→	① ①の対象数や量を、あらゆるもの(対象指標) 東大和市内に在住する18歳以上65歳未満の女性の人数及び父子家庭の数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 問題点の整理や問題解決に向けた理解を深め、エンパワメントを高め、悩みの解決に向けて進むことができる。その結果、自ら問題解決する力をつけ、安定した生活を営むことができる。	→	② ②の状態になった数・量をあらゆるもの(成果指標) 相談により問題が改善の方向に向いたと感じた方の数/相談件数
	③ そのために何をしましたか。 相談員が面接等でひとり親・女性のさまざまな相談に応じ、問題解決に向けて、問題点の整理や必要な情報提供を行い、今後の生活について方向性をつけるよう支援を行う。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 年間相談件数(延)289件

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	24,505 (対象女性人数)	24,198 (対象女性人数)	23,994 (対象女性人数)	
	成果指標	②の数値	%	不明	不明	不明	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	件	387	429	289	

3 経費	事業費(実績)		円	2,914,311	2,826,838	3,185,337	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,892,311	1,421,838	2,573,337	
		特定財源	円	1,022,000	1,405,000	612,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.7	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
事業費+人件費		円	7,047,811	6,953,338	8,956,137		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成17年度までは東京都から婦人相談員の派遣を受けて実施。母子及び女性の自立を支援することを目的とした。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成18年度から市の相談員を生活福祉課に置いた。平成20年度から子育て支援課に母子・婦人相談員を設置し、平成24年度から母子・女性相談員に名称変更。平成26年10月の母子及び寡婦福祉法改正により父子家庭の相談が加わる。平成27年度から、ひとり親・女性相談係に名称変更。

仕 事 の 内 容	ひとり親・女性相談事業		
担当部署・課長名	子育て支援部子育て支援 課	ひとり親・女性相談 係	課長名 鈴木礼子

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	配偶者との家庭内紛争に関する相談、ひとり親になるにあたっての生活費の確保、子どもの学費の貸付や給付金の相談等経済的支援に関する内容が多かった。		

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容		
	社会の変化に伴うひとり親家庭や女性の抱える問題の変容に対応していくこと。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。		
	ひとり親家庭等を支える他制度に関する情報を収集し、適切に情報提供を行い支援した。		
(3)(2)を踏まえた今後の課題			
相談者に寄り添い、相談者に合った内容、タイミングで情報を提供すること。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	周辺制度の改正等に常にアンテナを張り、情報収集に努める。他自治体や関係団体との情報交換を蜜に行う。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	情報収集のための会議や連携会議、連絡会への出席の時間を確保する。			
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。